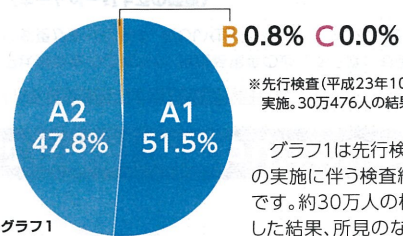


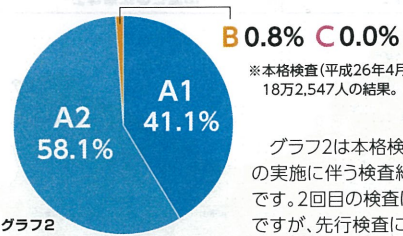
検査結果をお知らせします

先行検査の結果内訳 (平成27年4月30日現在)



※先行検査(平成23年10月9日)から実施。30万476人の結果。
 グラフ1は先行検査(1回目)の実施に伴う検査結果の状況です。約30万人の検査を実施した結果、所見のない方(A1)や5.0mm以下の結節や20.0mm以下のう胞がある方(A2)は全体の約99%となっています。
 精密検査(二次検査)をお勧めするB・C判定の合計の割合は0.8%です。

本格検査の結果内訳 (平成27年9月30日現在)



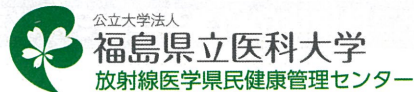
※本格検査(平成26年4月2日)から実施。18万2,547人の結果。
 グラフ2は本格検査(2回目)の実施に伴う検査結果の状況です。2回目の検査はまだ途中ですが、先行検査に比べてA2の割合が増えています。
 これは、本格検査の受診者のうち、う胞が見られる傾向が高い小学生から中学生の受診の割合が多いためと考えられます。
 なお、B・C判定の合計の割合は0.8%です。
 ※結果内訳において小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

検査結果の詳細情報の提供について

甲状腺検査結果の詳細情報(超音波画像等)は、簡易な手続きで取得することができます。詳しい内容につきましては、下記お問い合わせ先またはホームページをご確認ください。
 [URL] <http://fukushima-mimamori.jp/thyroid-examination/data-request/>

これからの甲状腺通信について

対象者の皆さま、保護者の皆さまに甲状腺検査に関する理解をより深めていただくために、今後も定期的に甲状腺通信を発行することを予定しております。
 これから発行される甲状腺通信について、ご意見等がございましたら、下記までご連絡をお願いします。

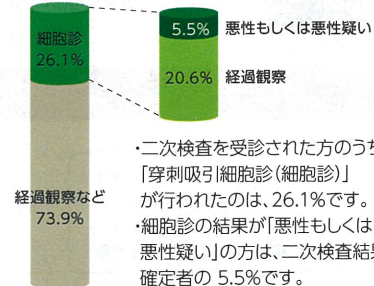


ご質問
お問い合わせ等はこちらまで
 TEL 024-549-5130
 (土日・祝日を除く9:00~17:00)
 お届け間違いのないようご注意ください
 メール: kenkan@fmu.ac.jp



先行検査 二次検査の結果

二次検査を受け、結果が確定した2,056人の内訳
 穿刺吸引細胞診を受けた26.1%(537人)の内訳
 ※手術後の病理検査を経て確定診断となる。



・二次検査を受診された方のうち、「穿刺吸引細胞診(細胞診)」が行われたのは、26.1%です。
 ・細胞診の結果が「悪性もしくは悪性疑い」の方は、二次検査結果確定者の5.5%です。

[県民健康調査]甲状腺検査結果より(平成27年6月30日現在)

[判定結果の説明]

A判定
 A1 結節やう胞を認めなかったもの。
 A2 5.0mm以下の結節や20.0mm以下のう胞を認めたもの。
 A判定の方は次回の検査を受診ください。
B判定
 5.1mm以上の結節や20.1mm以上のう胞を認めたもの。
C判定
 甲状腺検査の状態等から判断して、直ちに二次検査を要するもの。
 B・C判定の方は二次検査を受診ください(二次検査対象者に対しては、二次検査日時、場所を改めてご連絡します)。

詳細な情報は、
 ホームページでもご覧になれます。
 放射線医学県民健康管理センター



ホームページアドレス
<http://fukushima-mimamori.jp/thyroid-examination/result/>

甲状腺検査の最新情報をお伝えします。

これは甲状腺検査のご案内ではございません。

甲状腺通信

今号の内容

- 3回目(本格検査2回目)以降の検査間隔
- 甲状腺検査のお知らせ発送時期
- 検査会場での結果説明
- 住所変更
- 出前授業の実施
- 最新の検査結果

2016年2月発行
 第5号

3回目の検査(本格検査2回目)が始まります

25歳以降は5年ごとの節目に検査いたします。

平成28年度から3回目の検査(本格検査2回目)が始まります。
 20歳を超えるまでは市町村順に2年ごとに検査を実施し、25歳以降は市町村の枠組みをなくし、25歳、30歳、35歳、40歳…のように5年ごとの節目に検査を実施いたします。
 ※25歳の検査までに5年以上空かないようご案内いたします。
 平成28年度以降の皆さまの検査時期(間隔)は下の表をご確認ください。ホームページ上でも皆さまの受診時期を確認することができます。

[URL] <http://fukushima-mimamori.jp/thyroid-examination/>

本格検査(検査3回目以降)の検査実施計画

各年度4月2日から翌年4月1日までに生まれた方	2年間で、前半・後半に分けて、市町村ごとに行う本格検査		25歳以降、30歳、35歳等、5年ごとの節目に行う本格検査	
	H28年度(2016)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	H31年度(2019)
H4年度(1992)生まれ	24	25	26	27
H5年度(1993)生まれ	23	24	25	26
H6年度(1994)生まれ	22	23	24	25
H7年度(1995)生まれ	21	22	23	24
H8年度(1996)生まれ	20	21	22	23
H9年度(1997)生まれ	19	20	21	22
H10年度(1998)生まれ	18	19	20	21
H11年度(1999)生まれ	17	18	19	20
H12年度(2000)生まれ	16	17	18	19
H13年度(2001)生まれ	15	16	17	18
H14年度(2002)生まれ	14	15	16	17
H15年度(2003)生まれ	13	14	15	16
H16年度(2004)生まれ	12	13	14	15
H17年度(2005)生まれ	11	12	13	14
H18年度(2006)生まれ	10	11	12	13
H19年度(2007)生まれ	9	10	11	12
H20年度(2008)生まれ	8	9	10	11
H21年度(2009)生まれ	7	8	9	10
H22年度(2010)生まれ	6	7	8	9
H23年度(2011)生まれ	5	6	7	8

「次の検査はいつ?」
 受診年度を表示する計算機をホームページに掲載しました。

平成28年度からは2年ごとに検査を受診していただく方と、5年ごとに検査を受診していただく方のように、年齢によって受診の間隔が異なります。
 そのため、皆さまにご自身の受診年度を把握していただけるよう、県民健康管理センターのホームページに、受診年度を表示する計算機を掲載しました。
 計算機に生年月日を入力していただくと、次回の検査の受診年度が表示されますので、是非ご利用ください。
 [URL] <http://fukushima-mimamori.jp/thyroid-examination/yearsearch/>



資料7 参考

これからはお住まいの市町村ごとに検査のお知らせをお送りします

3回目の検査（本格検査2回目）から、検査のお知らせ発送時期が「震災時住所在地」から「現住所在地」に切り替わります。

震災時住所在地とは

→原則、東日本大震災時点で対象者またはその母親が居住していた福島県内の市町村のこと。

現住所在地とは

→原則、「検査のお知らせ」発送時点で県民健康管理センターが把握している住所に基づく市町村のこと。

検査予定年度 市町村一覧

- 平成28年度検査実施予定市町村(25市町村)
- 平成29年度検査実施予定市町村(34市町村)



平成27年度までの甲状腺検査は「震災時住所在地」を基準として実施していたため、「現住所在地から震災時の住所まで受診に行くことは困難である」、「現住所在地や在学している学校等で受診ができるようにしてほしい」とのご意見やご要望が寄せられておりました。

そこで、平成28年度からは皆さまがお住まいの「現住所在地」の検査会場（一般会場、学校、検査実施機関）で検査が実施される時期に「検査のお知らせ」を郵送いたします。例えば、震災時、郡山市にお住まいだった方が、現在、いわき市に居住されている場合、いわき市の検査時期に「検査のお知らせ」を郵送いたします。

※年度ごとの検査予定市町村については左記「検査予定年度 市町村一覧」をご確認ください。

なお、これまで同様、震災時住所在地の検査時期に受診を希望される場合は本紙最終頁に記載のお問い合わせ先までご連絡をお願いします。

福島県外にお住まいの皆さまにはこれまで同様、震災時住所在地を基準に検査のお知らせを郵送することを予定しております。

検査会場（一般会場）で暫定的な結果の説明を始めました

医師による説明ブースを設けております。



検査を受けてから検査結果が郵送されるまでの間の不安の軽減や、検査の意義をよりよく理解していただくために、公共施設等の一般会場において説明ブースを設置しております。

説明ブースでは、希望される皆さまに当日の超音波画像をご覧いただきながら、医師による一次検査の暫定的な結果内容を説明します。

なお、諸般の事情により説明ブースを設置できない一般会場や学校で受診された皆さまには、学校説明会や電話相談などをご利用いただけます。

甲状腺検査結果の医学的なご質問等に関する専用ダイヤルを設置します。

平成28年度からは、対象者の皆さまや、ご家族の皆さまからの検査結果に関するご質問や医学的なご質問にお答えするために、専用のダイヤルを設置する予定です。

甲状腺検査結果や医学的なお問い合わせ

平成28年4月以降から運用開始予定です。

024-573-0205（土日・祝日を除く 9:00～17:00）

※原則として、医師から折り返しお電話を差し上げます。折り返しのご連絡まで数日いただく場合がございますので、ご了承ください。

- ・本ダイヤルは甲状腺検査対象者および、ご家族の皆さまからの質問専用ダイヤルとなりますので、あらかじめご了承ください。
- ・一般的なご質問（検査会場や検査日程の変更、住所変更等）は【024-549-5130】までご連絡をお願いします。



学校にお伺いして、甲状腺検査の「出前授業」を行っています



お子さんの反応や表情を見ながら、授業を進めています。

平成27年度から、お申し込みをいただいた学校にお伺いして、小学校5年生・6年生、中学生、高校生を対象とした、甲状腺検査の「出前授業」を始めました。

この授業用に編集したテキストを使いながら、医師が「甲状腺はどのような働きをしているのか」「なぜ福島で検査を行うことになったのか」「のう胞ってなに？」など、甲状腺検査について分かりやすく説明します。また、「超音波検査で何が見えるのか」をテーマにした、臨床検査技師による超音波検査機器のデモンストレーションも行っています。

甲状腺検査は、今後も長きにわたって続く検査です。これまで、県民健康管理センターでは、主に保護者さま向けの「出張説明会」を実施してきましたが、この出前授業は、実際に検査を受けるお子さんご本人を対象としています。甲状腺や検査に関する知識をお伝えするだけでなく、この出前授業が、多くの情報の中からお子さんが自分で正しい情報を選び、判断できるようになるためのきっかけにしたいとの思いで、スタッフ一同、内容の充実に取り組んでおります。



出前授業の専用テキスト。小学生用と中学生以上用を作成しています。（医師による説明時の使用を前提としているため、テキストのみの配布はしていません。ご了承ください。）

ご住所等にお変わりはありますか

住所変更時には県民健康管理センターにもお知らせをお願いします。

甲状腺検査のご案内や、検査結果等の通知を正確にお届けできるよう、住所や氏名、電話番号に変更があった際は、新しい住所等をご記入のうえご返送ください。

【ホームページ上での変更】

URL <http://fukushima-mimamori.jp/thyroid-examination/change-address/>

【お電話での変更】

コールセンター：024-549-5130（土日・祝日を除く9:00～17:00）※お掛け間違いのないようご注意ください。

【ハガキによる変更】

「甲状腺通信」に同封のハガキに新しい住所等をご記入のうえご返送ください。

